茨木市行財政改革推進プラン

(第1期計画の総括及び第2期計画について)

平成22年4月

茨 木 市

目 次

第1	計画の概要	
1	策定の趣旨	1
2	取組期間	1
3	進捗状況の公表	1
筆?	これまでの行財政改革の経過	
75 - 1	平成16年度以前の主な取組	2
•		2
第3	第1期計画(平成17~21年度)の総括	
1	行財政改革推進委員会の開催状況	2
2	公の施設への取組	2
3	職員の増減数	3
4	人件費の削減及び給与の適正化等への取組	3
5	第三セクターの状況(平成20年度末時点)	3
6	行財政改革の取り組み実績	4
7	具体的事項の達成状況	5
8	第1期計画(平成17~21年度)の具体的取組事項	
	(1) 市民参加の仕組みづくり	6
	(2) 経営の視点による行財政システムの構築	13
	(3) 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備	27
9	取り組みによる経費削減・増収の総括	32
第4	第2期計画(平成22~26年度)の具体的取組事項	
1	市民参加の仕組みづくり	33
2	経営の視点による行財政システムの構築	39
3	行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備	51
4	第2期計画(平成22~26年度)の取組目標	55

第1 計画の概要

1 策定の趣旨

茨木市行財政改革推進プランは、茨木市行財政改革指針(平成18年5月策定)の趣旨に沿い、その推進に集中的・計画的に取り組むため、平成17年度を初年度とした5か年計画として策定したものである。

このプランは、「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針の策定について」(平成17年3月、総務事務次官通知)において、各自治体に対して平成21年度までの具体的な取組を明示した「集中改革プラン」の策定と公表が求められたことから、集中改革プランとして位置づけ、平成21年度を最終年度として、集中的に取り組んだ。

その結果、具体的取組事項については、全98項目中、9割を超す90項目において目標を達成し、経費削減及び増収額については、合計見込額の約59億円のおよそ4割を上回る約85億円を達成するとともに、職員数についても目標の94人を大きく上回る160人を削減するなど、計画全体としては概ね達成できたと言える。

しかしながら、多様化する市民ニーズや新たな行政課題に的確に対応し、地方分権時代に ふさわしい主体的で自律的な行財政運営を進めるためには、なお一層の行財政改革の取組が 求められている。

そのため、これまでの5年間を第1期計画として、その総括を行うとともに、茨木市行財政改革 指針の趣旨に沿って、新たに第2期計画を策定し、成果志向とコスト意識をもって、引き続き 行財政改革を推進するものである。

第2期計画においては、第1期計画に引き続き、市民サービスのさらなる向上と、効率的・効果的な行政運営をめざして行財政改革に取り組むとともに、第1期計画で目標が未達成の項目についても計画を一部見直して、引き続き取り組むこととする。当初目標として、全84項目、およそ29億円の経費削減及び増収を見込む。

2 取組期間

第1期 平成17~21年度の5年間 (茨木市集中改革プラン)

第2期 平成22~26年度の5年間

3 進捗状況の公表

本計画に基づく行財政改革の進捗状況は、市広報誌、ホームページ等を通じ、公表、周知を図り、市民、関係機関・団体等から、幅広い意見を聴取し、推進に努める。

第2 これまでの行財政改革の経過

1 平成16年度以前の主な取組

昭和59年1月 「茨木市行政改革の推進に関する基本方針」を策定

昭和59年8月 行政改革推進委員会の設置

平成6年10月 自治事務次官通知「地方公共団体における行政改革推進のための

指針の策定について」

平成7年12月 「本市行政改革の今後の推進に関する実施要領」を策定

平成9年6月 「茨木市行政改革取組指針」を策定

平成9年11月 自治事務次官通知「地方自治・新時代に対応した地方公共団体の

行政改革推進のための指針の策定について」

平成13年5月 平成13年度行政改革推進プロジェクトチームの設置

平成13年10月 「行政改革推進計画」を策定

平成14年6月 平成14年度行政改革推進プロジェクトチームの設置

平成16年9月 平成16年度業務改善プロジェクトチームの設置

平成17年3月 総務事務次官通知「地方公共団体における行政改革の推進のため

の新たな指針の策定について」

2 第1期(平成17~21年度)の主な取組

平成17年12月 行財政改革指針策定諮問会議の設置、行財政改革指針案の諮問

平成18年3月 「茨木市行財政改革推進プラン(茨木市集中改革プラン)」の策定

平成18年5月 「茨木市行財政改革指針」の策定

平成19年6月 茨木市アウトソーシングプロジェクト・チームの設置

平成20年3月 「茨木市アウトソーシング指針」等の策定

平成20年8月 茨木市行財政運営プロジェクトチームの設置

平成21年5月 行政経営政策推進部会 使用料・補助金等見直し検討部会の設置

第3 第1期計画(平成17~21年度)の総括

1 行財政改革推進委員会の開催状況

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
総 括 部 会	2	4	5	2	3	16

2 公の施設への取組

(1) 指定管理者制度導入施設数(各年度末時点)

(単位:施設)

項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
導入施設	1	48	51	54	58
うち公募施設	0	13	15	18	28

平成16年度から導入

(2) 直営施設数(平成21年度末時点)

264施設

3 職員の増減数 (単位:人)

	項目	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
	総職員数	1,862	1,837	1,796	1,762	1,702	1
ţ	曽減(前年比)	-	25	41	34	60	160
	うち上水道事業	-	1	4	3	7	15
	うち下水道事業	-	1	1	1	1	2

各年4月1日現在

4 人件費の削減及び給与の適正化等への取組

年 度	給与等の名称	取 組 内 容
平成17年度	特別職の給与・報酬	特別職の給与・報酬を減額。
十八八十尺	時間外勤務手当	休日出勤の振替制度の活用を推進するなど、時間外 勤務手当の削減に努めた。
平成18年度	特殊勤務手当	市税等事務従事手当、福祉事務従事手当、消防·救急救命業務従事手当(高所作業従事手当)、厳寒手当(水道部)を廃止。
平成19年度	特殊勤務手当	衛生·廃棄物従事手当の一部、道路等維持作業従事 手当を平成21年度までで段階的に廃止。
平成21年度	給料表の統合	行政職給料表(三)を廃止し、行政職給料表(二)へ統合。
十/3,21千皮	期末勤勉手当	期末勤勉手当にかかる役職加算を平成21、22年度凍 結。

特殊勤務手当以外は上水道事業、下水道事業も含む。

5 第三セクターの状況(平成20年度末時点)

(1) 法人数

- 4団体(出資比率25%以上の法人)
 - ·茨木市土地開発公社
 - ・(財)茨木市保健医療センター
 - ·(財)茨木市文化振興財団
 - ·(財) 茨木市施設管理公社(平成20年度末に解散)

(2) 監査・点検評価の実施状況

関与法人の法人数 4 法人 うち外部監査体制のある法人数 0 法人 うち委員会等による定期的な点検評価がなされている法人数 0 法人

(3) 情報公開実施状況

財務諸表について、4法人すべて閲覧用資料の備え付けをしている。また、一部の法人では、ホームページでも公開している。

6 行財政改革の取り組み実績

茨木市行財政改革指針の趣旨に沿った改革の取り組みについて、具体的事項ごとに項目 数を集計した。

なお、上段は経費節減の項目数を、下段はサービス向上の項目数を表す。

(1) 市民参加の仕組みづくり

(単位:項目)

·/ ·					· · ·	- 7117	
具体的事項	主な改革内容	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
透明で公平・公正な行財		0	0	0	0	0	0
政運営の推進	広報広聴活動の推進	3	3	9	4	3	22
市民との協働による行財		10	2	2	6	0	20
政運営の推進	まちづくりSNSの構築	7	17	12	14	10	60
市民の視点に立った	時間外窓口の検討	1	7	2	5	0	15
サービスの改善	AEDの設置推進	8	4	9	19	5	45
-	合 計	11	9	4	11	0	35
		18	24	30	37	18	127

(2) 経営の視点による行財政システムの構築

(単位:項目)

3 /						, , ,	,
具体的事項	主な改革内容	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
経営の視点に立った行	業務改善への取組	46	30	34	37	32	179
財政運営	保育所の民営化	9 15 6	12	8	50		
民間活力の積極的な活	指定管理者制度の導入	3	1	10	10	6	30
用	学校給食調理の委託化	0	0	6	0	0	6
健全な財政運営の確立	有料広告の導入	15	15 14	11	14	21	75
陸王は別以達昌の惟立	補助金の見直し	2	4	3	4	4	17
	合 計	64	45	55	61	59	284
		11	19	15	16	12	73

(3) 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備

(単位:項目)

具体的事項	主な改革内容	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
機能的・効率的な組織・	組織・機構の見直し	2	0	4	2	1	9
機構の整備	プロジェクトチーム活用	2	2 2 4	4	4	2	14
経営感覚、政策形成能力、 チャレンジ精神に富んだ職	人事評価制度の導入	1	0	0	0	0	1
ライレンタ 精神に 番んた 職員の育成	人材育成基本方針策定	1	4	4	1	2	12
定員及び給与の適正化	定員管理の適正化	5	7	3	6	9	30
た貝及び細一の週上に	特殊勤務手当の見直し	1	1	0	0	0	2
	合 計	8	7	7	8	10	40
		4	7	8	5	4	28

(4) 平成17~21年度の取組総数

(単位:項目)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	合計
効果項目数	83	61	66	80	69	359
向上項目数	33	50	53	58	34	228
合 計	116	111	119	138	103	587

7 具体的事項の達成状況

第1期計画での具体的取組項目について、計画項目ごとに達成状況を集計した。 全98項目中、9割を超す90項目が達成しており、計画全体としては概ね達成できた。

(1) 市民参加の仕組みづくり

(単位:項目)

具体的事項	計画項目	全取組項目数	うち達成	うち未達成
透明で公平・公 正な行財政運営	ア 情報公開の推進	1	1	0
の推進	イ 広報広聴活動の推進	2	2	0
市民との協働に	ア パブリックコメント制度の活用	2	2	0
よる行財政運営	イ 市民との協働のまちづくり	8	7	1
の推進	ウ 環境に配慮した施策の推進	4	3	1
市民の視点に	ア 窓口サービスの向上	2	2	0
立ったサービス	イ 電子自治体の推進	4	4	0
の改善	ウ 危機管理体制の整備	3	2	1

(2) 経営の視点による行財政システムの構築

(単位:項目)

具体的事項	計画項目	全取組項目数	うち達成	うち未達成
経営の視点に 立った行財政運	ア 事務事業の見直し	13	13	0
	イ 施策等の進行管理手法の構築	2	2	0
立った1」別以達	ウ 公共施設の有効活用と適正管理	4	3	1
	エ 広域行政の推進	1	1	0
	ア 民間委託等の推進	5	5	0
民間活力の積極 的な活用	イ 指定管理者制度の推進	1	1	0
13.00/Д/13	ウ PFI手法の導入	1	1	0
	ア 財政の健全化	6	5	1
	イ 税源と新たな財源の確保	5	5	0
	ウ 市税等の収納率の向上	3	3	0
健全な財政運営	エ 受益者負担の適正化	2	2	0
の確立	オ 補助金等の整理合理化	3	2	1
	カ 扶助費の見直し	1	1	0
	キ 公共工事のコスト縮減	2	2	0
	ク 公営企業の経営の健全化	3	3	0

(3) 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備

(単位:項目)

具体的事項	計画項目	全取組項目数	うち達成	うち未達成
機能的・効率的 な組織・機構の	ア 時代の変化に対応した組織・機構の見直し	2	2	0
整備	イ 審議会等の機能向上	3	2	1
経営感覚、政策	ア 人事評価制度の導入	1	0	1
形成能力、チャ レンジ精神に富	イ 職員研修の充実	2	2	0
んだ職員の育成	ウ 職員の意識改革と能力向上	2	2	0
定員及び給与の	ア 定員管理の適正化	2	2	0
適正化	イ 給与等の適正化	8	8	0
	計画全体	98	90	8

8 第1期計画(平成17~21年度)の具体的取組事項

具体的取組項目ごとに、取組の効果及び達成度について総括した。

なお、「達成」とは、計画していた取組を実施できたこと、あるいは検討が結論に至ったことを指す。 また、「未達成」とは、取組が完了できていないこと等を指す。

目標欄における数字は、計画策定時点での見込の数を表す。

(1) 市民参加の仕組みづくり

透明で公平・公正な行財政運営の推進

ア 情報公開の推進

番号	1 - 1 - 1	具体的即	以組項目	市民への情報提供の充実					
所管課		政策法務課		関係課等	関係課等 各課				
改革 内容	情報公開をける積極的	を進め、計画 日な情報提供		10過程にお	目標	行政文書情 による情報 進			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度		
取組 経過		継糸	売実施			行政文書情 な公表、市 報共有の推	5民との情	達成	

イ 広報広聴活動の推進

番号	1 - 1 - 2	具体的耳	双組項目	広報	誌への市民	参加型の誌	面づくりの)検討
所管課		広報広聴課	Į.	関係課等				
改革 内容	総合行政情 り入れる。	弱報誌として	、市民参加	づくりを取	目標	市民が参加誌面づくりる。]しやすい)に努め	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実 施			掲載記事 その他、ī	D掲示板」 1,365件 市民参加型 -の充実	達成

番号	1 - 1 - 3	具体的即	以組項目	広聴活動への電子メール等の電子媒体の積極的な活用					
所管課		広報広聴課	Į.	関係課等					
改革 内容	電子メール かされる新	電子メール等の電子媒体の活用により、市民の声が活 かされる新たなモニタリングシステムを検討する。						幅広い年代 からの市民 取システム	の声の聴
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	· '		D効果	達成度
取組 経過		継続	売実 施				見提 メーノ		達成

市民との協働による行財政運営の推進

ア パブリックコメント制度の活用

番号	1 - 2 - 1	具体的距	双組項目	パラ	ブリックコン	メント制度(の積極的な	舌用
所管課		政策企画課	Į	関係課等 各課				
改革 内容		'コメント制 氏参画の仮	刂度を活用し ≧進を図る。)意思形成	目標	パブリック 案件への† 促進		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の効果		達成度
取組 経過	3	要綱策定(H	17)・継続			件30件 見608件	達成	

番 号	1 - 2 - 2	具体的耳	以組項目		行政情報の積極的な発信					
所管課		各課		関係課等						
改革 内容				市と市民だ 極的に発信す		目標	ジェアの仕	マームペー 也の媒体を 責極的な情		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取約	目の効果	達成度		
取組 経過		随日	詩 実 施			ジ等の活	ホームペー 用拡大、各 報の発信	達成		

イ 市民との協働のまちづくり

番 号	1 - 2 - 3	具体的耳	双組項目	ボランティア、NPO活動支援窓口の整備					整備
所管課	市	民活動推進	課	関係課等	系課等 政策企画課・各課				
改革 内容	ボランティ 口の整備に		ア、NPO活動に関する情報提供や相談窓 野める。 目標 支援窓口の一元作						
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(D効果	達成度
取組 経過	検討		継 続 実	施		設置	(H183	ンターの 年度)によ lの一元化	達成

番号	1 - 2 - 4	具体的耳	取組項目	市民公益活動の環境の整備						
所管課	市	民活動推進	課	関係課等						
改革 内容	ボランティア、NPO等が活動しやすい環境の整備を 進める。						標	(仮称)市 ターの設置	民活動セン [
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度	
取組 経過	検討		継 続 実	施	>		活動も	えとして、 2ンターを 年度)	達成	

番 号	1 - 2 - 5	具体的耳	以組項目	市民による	まちづくり	活動を進め	る仕組みと	環境づくり	
所管課		各課		関係課等					
改革 内容	まちづくり 実・強化を 検討し、市	「民に行政情報の発信と提供に努める。また、市民の きちづくり活動への支援(人的・財政的)制度の充 き・強化を進め、あわせて市の組織・体制の見直しを 目 標 自立的なまちづくり を討し、市民の主体的、自立的なまちづくりが展開さ の展開 いるような環境形成に努める。							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		随日	詩 実 施			市民による りの支援 (開催など)	勉強会の	達成	

番 号	1 - 2 - 6	具体的耳	以組項目	森	林ボランテ	ィアの	育成	・協働の推	進
所管課		農林課		関係課等					
改革 内容	市民参加型の里山づくりに向けて、森林ボランティア 目標の育成、協働を推進する。							里山センタ 設、森林サ 育成(50	ポーター
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取	組	D効果	達成度
取組 経過		継続	売実 施			森林サ	ポー 122	- ター育成 2人	達成

番号	1 - 2 - 7	具体的即	以組項目	ボランティ	ア、NPO(の積極	的な流	舌用(アドプ	ト制度など)
所管課	建設管	理課・公園	緑地課	関係課等	系課等 各課				
改革 内容	任せること		川用者のモラ	管理を地域 <i>0</i> ラル向上と、				る魅力あ	
	17年度	18年度	19年度	20年度					達成度
取組 経過		継糸	売実施			ティ 締	アと(結件)	会やボラン D美化協定 数 18件 道路など)	達成

番号	1 - 2 - 8	具体的即	双組項目	ワークショ	ップ手法等に	こよる参加機	会とネットワ	リークの拡大	
所管課		各課		関係課等					
改革 内容	市民と市か る。また、 責任におい	企画立案段階から市民が参画し、行政計画を共有し、 市民と市がともに計画の実現に取り組む機運を高め る。また、ワークショップへの参加を通じて、地域の 責任において市民自らが実行する手法を定着させ、市 民との相互理解を深めながら、協働体制の確立に努め る。							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		随日	寺実施			計画策定な たワークシ 実施		達成	

番号	1 - 2 - 9	具体的B	双組項目	市民等との協働を活用した政策推進、予算編成の検					
所管課	政策	企画課・財	政課	関係課等		市民活動推進課			
改革 内容	市民(地域協働を活用	域)との協働 目した政策推	動施策の推進 主進、予算網	5民等との 検討する。	目標	市民(地域 反映した政 予算編成の	策推進、		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過	調	査・研究		モデル算	€施		職員制度の 施(2校区)	未達成	

番号	1 - 2 - 10	具体的耳	以組項目	まちづくりSNSの開設及び運用						
所管課		都市政策課	Į.	関係課等	関係課等 各課					
改革 内容	木市まちつ	うくりソーシ		ノョンの場と ソトワーキン る。						
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取	組	D効果	達成度	
取組 経過				システム構築	実施			: 100名 度末見込)	達成	

ウ 環境に配慮した施策の推進

番号	1 - 2 - 11	具体的距	双組項目	環境に配慮した施設管理					
所管課	含	予施設担当 計	果	関係課等	係課等 環境政策課				
改革 内容	公共施設等 た施設管理			∖など、環均	意に配慮し 目標 向けて、各施設 断の実施				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度		
取組 経過		随日	寺実施				いて、環境 取組を推進 は未導入)	未達成	

番号	1 - 2 - 12	具体的即	以組項目	ISO14	0 0 1 認証	取得による対	加率的な環境	改善の取組	
所管課	環境正	奴策課・消	方本部	関係課等	各課				
改革 内容	た、職員の		5率先実行 <i>0</i> 双革の向上 <i>0</i> 5。	目標	電気、ガス、 量:5年間で 事務系用紙 で3%の削 (消防本部	で 2 %の削減 類: 5 年間 減			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過	検討	消防	本部取得,市庁舎取	・継続実施 【得・継続』	電気使用量 どによる環 軽減及び環 向上	環境負荷の	達成		

番号	1 - 2 - 13	具体的即	以組項目		温室	効果ガスの	の削減	
所管課		環境政策課		関係課等	系課等 各課			
改革 内容		減に向け、 [,]	低公害車や	カ果ガス(主 新エネルギ ニ努める。				うさ、温室効 ☆19年度ま
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	21年度 取組の効果 道		
取組 経過		継糸	売実 施			出量 76,6	時点での排 600t、7.5% 13年度比)	達成

番号	1 - 2 - 14	具体的即	以組項目	3 R (リ	デュース、	リユー	ス、「	リサイクル	・) の推進
所管課	環境政策課			関係課等		環境事業課			
改革 内容	循環型社会 ス、リサイ				て、リユー	目	標	茨木市一般原基本計画に基本計画に基 排出量の削減度比20%削	基づくごみ 咸(H12年
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の効果			達成度
取組 経過		継糸	売推進			本計画に のH22年 目標とし 年度比) 1日当た	こおける F度に2 Jて、2 家庭系 Eリ) 2	棄物処理基 る中間目標 20%削減を 20年度(H12 をごみ(1人 26.8%削 み 11.5%削	達成

市民の視点に立ったサービスの改善

ア 窓口サービスの向上

<u> </u>										
番 号	1 - 3 - 1	具体的耳	以組項目	窓口業務の効率化						
所管課		窓口担当課	Į.	関係課等						
改革 内容		市民に気持ちよく利用してもらえるよう、申請書の手 続の簡素化など、窓口事務の効率化を進める。						各窓口での以上の実施		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度	
取組 経過		随日	詩 実 施)見直しに)効率化	達成	

番号	1 - 3 - 2	具体的耶	双組項目	時間外窓口開設の検討					
所管課		政策企画課		関係課等		人事課・別	窓口担当課		
改革 内容		時間内に来 窓口開設を		∖市民のため	bに、時間	目標	週 1 回の時 の開設	間外窓口	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過	検討			実施		年度末及で の窓口延長 間・休日窓	達成		

イ 電子自治体の推進

番 号	1 - 3 - 3	具体的耳	[[[]]] [[]] [[]] [[]]	ICTを活用した事務の効率化・省力化						
所管課	情	報システム	.課	関係課等	系課等 各課					
改革 内容	や福祉分野	登子申請・電子調達による利便性向上と、保健・医療 中福祉分野でのICTを活用した遠隔サービスなど、 にり一層の事務の効率化、高度化、サービスの向上に そめる。								
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度		
取組 経過		随時	随時検討・実施 電子申請・電子調達 による利便性向上 達							

番号	1 - 3 - 4	具体的耳	双組項目	文書管理システムの運用					
所管課	総務課			関係課等	各課				
改革 内容	決裁の迅速書管理シス			D視点から、 Pめる。	統合型文 目 標 全文書の40%にを電子化する。				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過	検討		継 続 実	施			率 65.4% 度末時点)	達成	

番号	1 - 3 - 5	具体的耳	双組項目		†システム(の再構築				
所管課		財政課		関係課等	関係課等 各課					
改革 内容	統合型文書 電子決裁基 効率化とペ	盤を構築す	ることによ	才務関係の)迅速化・	目標		見込額 00千円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度			
取組 経過	検討	システム	構築	本稼働			果額 12千円	達成		

番号	1 - 3 - 6	具体的即	以組項目		庶務事	務システム	の運用		
所管課		人事課		関係課等	関係課等 各課				
改革 内容	統合型文書管理システム、財務会計システムとの連携を図り、給与・休暇関係事務の電子決裁基盤を構築することにより、事務の迅速化・効率化とペーパーレス化を図る。						事務の迅速 化・ペーパ の推進		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		検討		本稼働		事務の迅速 化・ペー <i>/</i>		達成	

ウ 危機管理体制の整備

番 号	1 - 3 - 7	具体的即	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [危機管理マニュアルの整備					
所管課		危機管理課		関係課等			各	課	
改革 内容	ぎ、また、	発生した危	6機に本市か	マな危機を利 が万全の体制 才産を保護す	『で対応す』 目の標(宝庁的な危機対)				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の効果			達成度
取組 経過					検討・ 研修実施	職員	員研修	多の実施	未達成

番号	1 - 3 - 8	具体的理	以組項目		自主防災	災組織の結り	忒、促進		
所管課		危機管理課	ļ	関係課等	関係課等警防課				
改革 内容	であること る。また、	害時の地域住民自身による活動が極めて重要なこと あることを踏まえ、自主防災組織の結成を促進す 。また、訓練用資機材を購入し、体験型の消防訓練 充実させることにより、地域防災力の向上を図る。							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の効果		達成度	
取組 経過		継 続 実 施 組織率 34.77% 結成団体数 19団体							

番号	1 - 3 - 9	具体的I	取組項目	自重	自動体外式除細動器(AED)の設置推進			
所管課	消防本部			関係課等	救急救助課			
改革 内容	自動体外式 でなく、ス への設置を		A E D) につ み、多くの <i>)</i>	Oいて、医療 、が集まる2	療機関だけ 公共施設等	関だけ 施設等 目標 るよう、主な公共 設に設置する。		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過		十画策定(H	17)・設置			設置施設 4施設	達成	

(2) 経営の視点による行財政システムの構築 経営の視点に立った行財政運営

ア 事務事業の見直し

番号	2 - 1 - 1	具体的耳	双組項目	業務改善への継続的な取組				
所管課		政策企画課	;	関係課等		各	·課	
改革 内容	業務改善規める。	皇案に基づき	、毎年度、	徹底した見	見直しに努 目標 対果見込額 5億円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施			各所属にお 改善の推進 効果額 4		達成

番号	2 - 1 - 2	具体的耳	双組項目	創意工夫による事務事業の見直し				
所管課	財政課			関係課等	各課			
改革 内容	事業の見直	[しを徹底し 経済情勢の変	、経費の領	創意工夫に 節減に努める ニーズに適応	らととも	ととも ロ		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度	
取組 経過		継糸	売実施				:リ生じた財 事業に配分 「できた。	達成

番号	2 - 1 - 3	具体的耳	以組項目	各種イベントの見直し					
所管課	各~	イベント担	当課	関係課等					
改革 内容	各種イベン める。	′トの効果、	必要性等を	を検証し、見	直しを進	Ш	標	すべてのイ ついて費用 検証の実施	対効果の
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組の	の効果	達成度
取組 経過		随 1	詩 実 施			各種/ 対効見 削減額	果の検	√トの費用 €証 ,383千円	達成

番号	2 - 1 - 4	具体的即	以組項目	事務処理マニュアルの作成・活用					
所管課	政策企画課			関係課等			各	·課	
改革 内容	事務処理マ 図る。	'ニュアルを	€作成・活用	月し、職場 <i>0</i>	の活性化を 目標 ニュアル化の推			野業のマ 公の推進	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度]	取組の	の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施				マニュ	いて、独 アル作成 Nる。	達成

番 号	2 - 1 - 5	具体的耳	以組項目	各種申請・届出等の簡素化					
所管課		政策企画課		関係課等	関係課等 各課				
改革 内容	押印の廃止	∵など、各種	負請・届出	目標	各種申請・ の総点検の				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		総点検(H1	7)・継続軍	E施		総点検の結果、77種 類の申請書等への押 印を廃止		達成	

_								
番号	2 - 1 - 6	具体的B	取組項目	土地開発公社の経営健全化				
所管課	用地課			関係課等	関係課等財政課・各事業課			
改革 内容	土地開発公	◇社の経営 優	建全化に努め	うる 。		目標	簿価総額(a 年以上簿価組標準財政規模 a/c=0.25未 b/c=0.1未	総額(b)、 模(c) : 満
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	要綱策定(H17)・継続実施					b/c=	0.128 0.074 隻末時点)	達成

番	号	2 - 1 - 7	具体的距	双組項目	出資法人の経営改善				
所管語	課	各出	增法人所管	管課	関係課等				
改革 内容	3	指定管理者 極的な事業 ともに、類 方を検討す 後の法人の	展開が図れ 似団体との る。また、	になるよう、通 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	適切な指導に 見野に入れ、 食体制につい	三努めると そのあり	目標	統廃合を含 資法人の紹 化に努める	営の健全
		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過			継糸	売実施			各出資法人 全化に向け みの実施。 公社の廃山	た取り組 施設管理	達成

番号	2 - 1 - 8	具体的耶	双組項目		ごみり	双集業務の身	見直し		
所管課	環境政	策課・環境	事業課	関係課等					
改革 内容	ごみの減量 務のあり方	ごみの減量、リサイクルの推進に向けて、ごみ収集業 身のあり方を見直していく。 目標 ごみ排出量20%削 (H12年度比)							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の	D効果	達成度	
取組 経過	検討	モデル実施	4	—————————————————————————————————————		資源化物の品施、H20家庭量(1人1日 26.8%削減(系ごみ排出 当たり)	達成	

番号	2 - 1 - 9	具体的耶	以組項目	敬老祝金支給対象年齢の見直し					
所管課		高齢福祉課		関係課等					
改革 内容	上であるが	き者は、70歳 で、平均寿命 に順次対象外	や府下各市	目標		見込額 75千円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		検討		70歳	77歳	70歳及び77 対象外とし 効果額 102	た	達成	

番号	2 - 1 - 10	具体的耳	以組項目	長期継続契約の導入				
所管課	契約検査課			関係課等		各	子課	
改革 内容	渡って契約	里や物品の借り入れ等において、複数年度 型約したほうが効率的・効果的なものは、 別継続契約を導入する。				目標	効率的・効 約の推進	加果的な契
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過	条例・ 基準策定		導入・継続	 詩実施			数 100件 効果額 03千円	達成

番号	2 - 1 - 11	具体的耳	以組項目	総合評価一般競争入札制度の導入					
所管課	契約検査課			関係課等	系課等				
改革 内容	性」等を併	入札制度において、「価格」以外の「技術」や「公共 性」等を併せて評価し、総合的に最も有利な者を落札 者とする総合評価方式を導入する。						効率的・効 約の推進	1果的な契
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取	組(の効果	達成度
取組 経過				要綱策定	実施		・公	ī式の導入 公共性等に ぼ施	達成

番号	2 - 1 - 12	具体的理	双組項目	ごみ処分費に係る燃料費の削減				
所管課		環境事業課	Į.	関係課等	等			
改革 内容	炉の稼働に トバーナー める。	遺やす燃料 の改造を行	抖費の削減を テい、燃料で	こパイロッ O削減を進	財 対果見込額 40,950千円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(D効果	達成度
取組 経過			検討・準備	実施			果額 19千円	達成

番号	2 - 1 - 13	具体的理	以組項目		個人	給付事	業の	見直し	
所管課	-	各課		関係課等					
	行政評価結う。	行政評価結果に基づき、個人給付事業の見直しを行う。 事業名 担当課							
	飼い犬等避				ュ 麻 生 活 課				
		宿泊施設利用			<u> </u>				
		・知的障害者		11-2074	20 32 ~ 411				
改革	特定疾患者	福祉金	障害	福祉課	l	標	効果身	見込額	
内容	重度障害者	福祉タクシー				作示	180,6	39千円	
	高齢者世帯	家賃助成							
		り老人等介護	見舞金	一高粉:	福祉課				
	高齢者住宅								
	1	タクシー助成	t						
	奨学金			学	務 課				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(が効果	達成度
取組 経過			検討	検討実施		効果額 192,448千円		達成	

イ 施策等の進行管理手法の構築

番 号	2 - 1 - 14	具体的耳	収組項目	行政評価システムの構築・活用							
所管課	,	政策企画課	Į.	関係課等							
改革 内容		総合計画の施策体系に沿った行政評価システムを構築 し、効率的な行財政運営に努める。					行政評価シ 構築	·ステムの			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度			
取組 経過	検討		継続実	施	各所属		こおける 善の推進	達成			

番 号	2 - 1 - 15	具体的耳	Q組項目 (総合計画の計画的な進行管理					
所管課		政策企画課		関係課等					
改革 内容		総合計画に基づく重要施策の円滑な運営を図るため、 政策推進プランの推進に努める。					マネジメン ルの確立	/トサイク	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過	政策推進プラン策定	,	継 続 実	. 施		着実な政策 施策の実明 とができた	見を図るこ	達成	

ウ 公共施設の有効活用と適正管理

番号	2 - 1 - 16	具体的即	双組項目	市立保育所の民営化					
所管課		保育課		関係課等					
改革 内容	入を図る。	平成19年	度から毎年	型運営に民間 F 2 箇所、言 こ 8 箇所)す	✝6箇所	目標		見込額 052千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		基本方針策定		実施			牧 6箇所 49,728千円	達成	

番 号	2 - 1 - 17	具体的耳	双組項目	利用者の声を反映した施設運営の推進				
所管課	含	予施設担当 計	果	関係課等				
改革 内容		公の施設の管理運営にあたり、施設利用者の声を活か した運営に努める。					公共施設へ の設置	の意見箱
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		継続実施					らいて、 気見を反映 €実施	達成

番号	2 - 1 - 18	具体的即	以組項目	施設運営へのボランティアの活用				
所管課	各施設担当課			関係課等	系課等 各課			
改革 内容		公の施設運営にボランティア制度を導入し、事業運営 に市民参画を図る。					ボランティ した施設の	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	随 時 実 施					各種施設の運営や イベントにおいて、 ボランティアが活躍		達成

番号	2 - 1 - 19 具体的取	紅項目	市立学校の適正なあり方の検討				
所管課	教育政策課		関係課等				
改革 内容	山地部の小・中学校の める。	適正なあり)方について	「検討を進	目標	山地部の小の適正化	・中学校
	17年度 18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	内部 調整 懇談会 実施	地元調整	ᄽ 継続□	H H	地元にて意	意見調整中	未達成

エ 広域行政の推進

番号	2 - 1 - 20	具体的即	以組項目	広域連携の一層の推進					
所管課	政策企画課			関係課等	各課				
改革 内容		持例市や近隣自治体と連携して、共通する課題の解 に向けた広域的な取り組みを進める。					標	近隣都市とよる課題の 決に向けた の推進)把握と解
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		他		府に	と連携 対する った。	も も も も も も も も も も も も も も も も も も も	達成		

民間活力の積極的な活用

ア 民間委託等の推進

番 号	2 - 2 - 1	具体的耳	[[[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[アウトソーシング指針の作成							
所管課		政策企画課	Į.	関係課等							
改革 内容	アウトソー	-シング(タ	卜部委託化)	目標	アウトソー 針の策定	·シング指					
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の	の効果	達成度			
取組 経過			策定	活用		及び手法別	シング指針 マニュアル 政評価への	達成			

番号	2 - 2 - 2	具体的即	双組項目	各種業務へのボランティア・NPOの積極的な活用				
所管課	市	民活動推進	課	関係課等	各課			
改革 内容		事務事業について、ボランティア・NPOの積極的な 活用に努める。					公共サーヒ ランティア の参加拡大	7 · N P O
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	達成度	
取組 経過		随日	詩 実 施			各種業務 ボランティ 参加機会な	ィア・NPOの	達成

番号	2 - 2 - 3	具体的即	双組項目	学校給食調理業務の民間委託					
所管課		教育政策課	;	関係課等					
改革 内容	小学校給食	夏の調理業務	らい かいま おうしゅう おうしゅう かいま	二民間委託伯	とする。	目標		見込額 10千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		他市視察 ・調査等	>	実施			校で実施 80,079千円	達成	

番号	2 - 2 - 4	具体的即	双組項目		清掃業務及	掃業務及び運転業務の見直し			
所管課	各いのち	・愛・ゆめ	センター	関係課等					
改革 内容	務は委託、	情掃及び運転業務の作業員の2人を減員する。清掃業 務は委託、運転は各自で行う。現在の公用車(キャラ 目 標 効果見込 (ン)を軽自動車に切り替える。							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取約	且の効果	達成度	
取組 経過			実施 効果額 148,276千円 達成						

番号	2 - 2 - 5	具体的取組項目 ごみ処理施設運転保全整備業務委託						
所管課		環境事業課		関係課等				
改革 内容	現場部門(等業務)の	現場部門(計量受付・資材管理・プラットホーム監視 目標 効果見込額 「業務)の委託化を実施する。 約78,000千F						
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過		検討		実施			果額 63千円	達成

イ 指定管理者制度の推進

番 号	2 - 2 - 6	具体的理	取組項目		指定管理者制度の積極的な活用				
所管課		政策企画課	Į.	関係課等			各	課	
改革 内容	定管理者制 設のあり方	成18年4月1日から、43施設について新たに指置管理者制度を導入するとともに、今後とも、公の施設のあり方を検証し、市民サービスの向上、管理経費 目標 効果見込額 272,000千円 節減が図れるものについて、指定管理者制度の導入 272,000千円 270,000千円							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	I	収組の	D効果	達成度
取組 経過	指針策定		本格導入・	拡充		58施記	殳(H	\施設数 21年度末) 4,030千円	達成

ウ PFI手法の導入

番号	2 - 2 - 7	具体的I	双組項目		ΡFΙ	手法の活用	の検討	
所管課		政策企画課	Į	関係課等	係課等			
改革 内容	PFI手法	₹の導入を核	彰討する。		目標 PFI活用事業(事業の検
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過			マニュ アル 策定	導入検	討	PFIマニ 策定	ニュアルの	達成

健全な財政運営の確立

ア 財政の健全化

番号	2 - 3 - 1	具体的理	双組項目		中・長	期財政計画	Īの策定	
所管課		財政課						
改革 内容	「政策推進プラン」の策定時に、中・長野 策定し、財政運営の健全化に努める。				才政計画を	目標		率85%以下 率10%以下
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実施			経常収支比	度決算】 (率:92.1% 率:8.6%	未達成

番号	2 - 3 - 2	具体的耳	以組項目	予算編成システムの改革					
所管課		財政課			各課				
改革 内容	「政策推進編成システ			加果的・効率	を的な予算 目 標 務の効率化と則 効果的な配分			と財源の	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取糾	の効果	達成度	
取組 経過		検討		実施	発展	予算編成 化が図ら	事務の効率 れた	達成	

番号	2 - 3 - 3	具体的即	以組項目	財政情報の公開の推進					
所管課		財政課		関係課等					
改革 内容	市民に分かめる。	市の財政運 市の財政運 である。 目標 について市 明責任を果							下民への説
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		が							

番号	2 - 3 - 4	具体的即	以組項目	[3	国民健康保障	食事業特別:	会計の見直	b
所管課		国保年金課		関係課等				
改革 内容	国民健康保 外繰入金の	国民健康保険料の収納率向上による増収を図り、法定 ト繰入金の抑制を目指す。 増収見込額 350,000千円						
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実 施			423,7	収額 95千円 度末時点)	達成

番 号	2 - 3 - 5	具体的理	[[[]]] [[]] [[]] [[]]	介護保険事業特別会計の見直し					
所管課		介護保険課		関係課等					
改革 内容		个護保険事業特別会計の運営のあり方を見直し、効率 的な運営に努める。						介護保険事 着実な推進	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組の	の効果	達成度
取組 経過		—— 検討	・実施				6 か月 な密着	援センター 所設置 型サービス 所整備	達成

番号	2 - 3 - 6	具体的理	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [公共下水道事業特別会計の見直し					
所管課		下水道課		関係課等					
改革 内容	公共下水道 率的な運営		除計の運営の	直し、効	目	標	経営経費の り、会計の を目指す。		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	,	取組の	の効果	達成度
取組 経過	検討		継続実	施				豊の削減 00千円	達成

イ 税源と新たな財源の確保

番 号	2 - 3 - 7	具体的理	双組項目		有	料広告の導	入	
所管課		政策企画課	Į.	関係課等 各課				
改革 内容	ホームペーる。	ページ等への有料広告の導入について検討				目標		見込額 0千円
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	調査・ 研究		継続実	<u></u> 施	増		X額 ′4千円	達成

番号	2 - 3 - 8	具体的即	以組項目	観光振興による地域活性化の推進					
所管課	商工労政課			関係課等	各事業課				
改革 内容	観光協会とともに、さらなる誘客宣伝活動を展開し、 来街者増による地域活性化を図る。					目	標	来街者	1 万人増
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施			4,287 観光第	人増(来館者数 H 16年度比) 機の利用件数 H 21年度)	達成

番号	2 - 3 - 9	具体的即	以組項目		産業	の活性化の	推進	
所管課	商工労	政課・政策	企画課	関係課等				
改革 内容	るとともに							D維持・促 進
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施				立地促進条 企業立地支 設置	達成

番号	2 - 3 - 10	具体的理	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [公有	財産の有効	活用	
所管課	総務	課・水道総	務課	関係課等				
改革 内容	遊休地の売	却により、	新たな収 <i>)</i>	らめる。	目標		見込額 36千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の	の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施			又額 36千円	達成	

番号	2 - 3 - 11	具体的即	双組項目	前納報奨金の見直し					
所管課		収納課		関係課等	関係課等				
改革 内容	市税の前納る。	報奨金につ	いて、制度	を検討す	目標		見込額 00千円		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の	の効果	達成度	
取組 経過		検討			条例改正	H22年4月	月から廃止	達成	

ウ 市税等の収納率の向上

番号	2 - 3 - 12	具体的即	以組項目	各種徴収システムの見直し				
所管課		収納課		関係課等	等 料金徴収各課			
改革 内容	徴収体制の	強化を図り)、収納率 <i>0</i>	ბგ.	増収見込額 92,000千円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実施		による	以納率向上 増収額 60千円	達成	

番号	2 - 3 - 13	具体的即	以組項目	課税客	課税客体の適正な把握による市税収入の確保				
所管課	市民	税課・資産	税課						
改革 内容	課税客体の る。)正確かつ詩	∮細な把握 は	の増を図	目標	公平・適正 確保	Eな課税の		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		随日	詩 実 施			課税(適正な の実施 3,781千円	達成	

番号	2 - 3 - 14	具体的耳	双組項目	市税等口座振替加入率の向上					
所管課		収納課		関係課等	関係課等 料金徴収各課				
改革 内容	座振替の申	込窓口を、	金融機関加	□を図るとと だけでなく↑ 表替加入率 <i>0</i>	の担当課	目標	納税義務者	当数の15%	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の効果 達成			
取組 経過		継糸	売 実 施			納税義和	替加入率 8者数の 121年度末)	達成	

エ 受益者負担の適正化

番 号	2 - 3 - 15	具体的距	双組項目	使用料・手数料の定期的な見直し				
所管課	財政課			関係課等	各課			
改革 内容	受益者負担の適正化を図るため、使用料・手数料に いて、定期的に全庁的な見直しを図る。					目標	他市の状況 分析上、著 しているも する。	音しく乖離
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過		随時楨	討・実施		よる使用	担の観点に 料の見直し 37,899千円	達成	

番号	2 - 3 - 16	具体的即	以組項目	公共施設駐車場の有料化					
所管課	\$	予施設担当 計	果	関係課等					
改革 内容	市役所来庁 有料化する		とはじめ、各	目標		見込額 10千円			
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過				検討	実施	市民サーヒ 上・受益者 正化	ごスの向 背負担の適	達成	

オ 補助金等の整理合理化

番号	2 - 3 - 17	具体的耶	双組項目		補助	金事	業の見	直し	
所管課		各課		関係課等					
改革 内容	助について								
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		随日	詩 実 施				性検討	助金の 対・見直し 37,295千円	達成

番号	3 2 - 3 - 18	具体的耳	取組項目		補	助金の見直	īし		
所管課		財政課		関係課等	関係課等 各課				
改革 内容	性を検討し 福祉の向_ ら、公平が	制助金支給基準を作成し、全ての補助金を対象に必要 を検討し、市の行政目的の達成を目指し、広く市民 配祉の向上に資するものである「公益性」の視点か 以公平かつ効率的・効果的に活用されるように補助 は制度を検証する。							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	達成度		
取組 経過		村	計		これまでの まえ、今後 議論の場を		未達成		

番号	2 - 3 - 19	具体的即	双組項目	交付金の見直し					
所管課	議会	会事務局総務	务課	関係課等					
改革 内容				D答申により 0,000円に派		目標		見込額 60千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過				検討	実施		果額 60千円	達成	

カ 扶助費の見直し

番号	2 - 3 - 20	具体的耳	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [就学援助費の見直し				
所管課	学務課			関係課等				
改革 内容	申請手続や営に努める		€見直し、制	側度の趣旨は	こ沿った運	目標		見込額 00千円
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過	要綱改正		継続実	施	効果額 193,266千円			達成

キ 公共工事のコスト縮減

番号	2 - 3 - 21	具体的耶	双組項目	公共工事のコスト縮減対策の推進					
所管課		工事担当課	;	関係課等					
改革 内容	公共工事の る。)計画から旅	五に至るま	ŧでのコス l	スト縮減を図 目 標 工事コストの低減、 間的コストの低減、 ける社会的コストの いて研究・検討しま 減を目指す。			低減、工事にお ストの低減につ	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組の	の効果	達成度
取組 経過		継続	売実 施			流用:	土の埋	材の活用、 め戻しなど ト縮減	達成

番 号	2 - 3 - 22	具体的理	双組項目	入札・勢	2約制度の道	適正化(電	子入札制度(の導入)
所管課		契約検査課	Į.	関係課等				
改革 内容	るなど、公	「の構築に向 ○共工事にあ ○の確保を図	おける入札、	子入札制度 <i>0</i> 契約手続等)導入を図 等の透明	目標	入札制度の 透明性・公 保	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過					実施	9	L実施案件 3件 F12月末)	達成

ク 公営企業の経営の健全化

		# U							
番 号	2 - 3 - 23	具体的理	双組項目		水道料金	のコ	ンビニ	での収納	
所管課		営業課		関係課等					
改革 内容	コンビニで 図る。	の料金収約	内を実施し、	支払方法の	D利便性を	目	標	利便性	の向上
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過			実	施		利用	件数	利便性向上 : 72,000件 末見込み)	達成

番号	2 - 3 - 24	具体的即	双組項目		浄水場運	転管理業務	용の委託化	
所管課	浄水課			関係課等				
改革 内容	浄水場運転	管理業務 <i>0</i>)委託化を核	剣する。		目標		見込額 00千円
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過		検討		一部実施		人件費の 高年齢職 理	削減、 員の健康管	達成

番号	2 - 3 - 25	具体的耳	以組項目	十日市伏流水の再稼働					
所管課	浄水課			関係課等	『係課等 水道総務課				
改革 内容	現在、休止中の十日市伏流水を 受水費の削減を図る。			稼働させ、	府営水道 目標 幼果見込額 49,350千円				
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過			調査・検討	施設整備	実施		受水費削減 4,477千円	達成	

(3) 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備機能的・効率的な組織・機構の整備

ア 時代の変化に対応した組織・機構の見直し

番号	3 - 1 - 1	具体的理	以組項目	簡素で効率的な組織の構築					
所管課	政策企画課			関係課等					
改革 内容	める。また		₹裁権限を↑	カ的な組織∂ ▽部に委譲し る。		目	標	意思決定・ のスピード	事務処理 ・アップ
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過	随 時 実 施 市民ニーズに応じた 効率的な組織の構築								達成

番号	3-1-2 具体的取組項目			プロジェクトチームの一層の活用				
所管課	政策企画課			関係課等	各課			
改革 内容	横断的な行 チームの活			るため、プロ]ジェクト	目標	横断的行政 決	(課題の解
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度	
取組 経過			アウト ソーシ ングPT	行財政 運営PT		P T の設置 P T による 定や研究成	指針の策	達成

イ 審議会等の機能向上

	スサツ液形に	1							
番号	3 - 1 - 3	具体的距	双組項目	審	審議会等への市民公募委員の参加促進				
所管課		政策企画課	Į.	関係課等	等 各課				
改革 内容		市政に反明 参画を推進す		市民公募村	民公募枠を拡大 目標 反映			層からの意見	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取約	組の効果	達成度	
取組 経過		随日	寺 実 施			映するこ 公募委員	点を市政 とができ <i> </i> 数 15人 4月時点	た。 達成	

番 号	3 - 1 - 4	具体的理	双組項目	審議会等における女性委員の比率の増加				
所管課	男	女共同参画	i課	関係課等	各課			
改革 内容	政策・方針 女性委員の			参画を促進す	平成23年度末ま 35% (審議会等への 委員の登用指針			うべの女性
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		の効果	達成度
取組 経過		随日	寺 拡 大			性登用率 (同時点に	時点の女 30.5% こおける目 8%)	未達成

番号	3 - 1 - 5	具体的耶	双組項目	ホームペー	- ジ等を活月	用した審議?	会等の会議	開催の通知
所管課	政策企画課			関係課等	各課			
改革 内容	市民が審議会等の傍聴ができるよう、ホームページ等を活用し、会議日程の周知を図る。					目標	ホームペープページに	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組の	達成度	
取組 経過	随時実施			立 立 充実施		会議日程を随ホームページの一覧を掲載	へ審議会等	達成

経営感覚、政策形成能力、チャレンジ精神に富んだ職員の育成

ア 人事評価制度の導入

番号	3 - 2 - 1 具体的取組項目			人事評価制度導入の検討				
所管課	人事課			関係課等				
改革 内容			〕・実績を重 を導入する	重視した人事 ら。	事管理を行	目標	人材育成、 給、勤勉手 映	昇任・昇 当への反
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	検討		能力評価説明会	能力評価実施	業績評価 試行	職員の意識 力・実績を 人事管理	战改革、能 ●重視した	未達成

イ 職員研修の充実

1 1402014										
番 号	3 - 2 - 2	具体的耳	以組項目	人材育成基本方針の策定						
所管課		人事課		関係課等						
改革 内容	人材育成の 針を策定す		こした人材育	育成基本方	目	標	自律的・対 治体運営を めの人材の	進めるた		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度	
取組 経過	検討		策定	研修実	施	策定		基本方針の †に基づく ≅施	達成	

番号	3 - 2 - 3	具体的取	双組項目	政策形成能力、法務能力等の向上を目指した研修内容の充実						
所管課	人事課			関係課等						
改革 内容	経験年数や職 務能力の向上					目標	政策形成能 務能力の向 地方分権に な人材育成]上による 対応可能		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(D効果	達成度		
取組 経過	継続	実施		拡充実	施	法制執務研 法務研修の		達成		

ウ 職員の意識改革と能力向上

番 号	3 - 2 - 4	具体的耳	以組項目	経営感覚を身につけた職員の育成					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容	職員一人ひ 営感覚を持			生などの経	目材	票	コスト意識 感覚を養う り、職員の を図る。		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取	組の	D効果	達成度
取組 経過		継続	売実 施				遣研	民間企業 修による 識向上	達成

番号	3 - 2 - 5	具体的耳	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [接遇能力及び意識の向上						
所管課		人事課		関係課等						
改革 内容	徹底した接 立った利用)立場に	目標	接遇能力のよって住民高めること 職員を育成	R満足度を こができる		
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	達成度			
取組 経過			研修の実施		接遇能力がサービス向		達成			
		職員フロス	アマネージ・	る意識の応						

定員及び給与の適正化

ア 定員管理の適正化

番号	3 - 3 - 1	具体的即	以組項目		፟፟፟፟፟	定員の適正	化	
所管課		人事課		関係課等				
改革 内容	平成17年	(内、上水 4 月職員数 (内、上水	する。 1,862 (道89人・ 1,769 (道81人・ 人【退職予	.)	目標	効果	人)の削減 見込額 000千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実 施			対	0人)の削減 果額 ,000千円	達成

番号	3 - 3 - 2	具体的耳	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [多様な勤務形態の導入検討					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容		こ、短時間勤務職員制度の検討を行い、職場の活性┃ 目 標 効率的な勤務形態の							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		継糸	売実施			効活	用、任	務形態の有 E期付短時 員の導入	達成

イ 給与等の適正化

番号	3 - 3 - 3	具体的理	双組項目	新たな人事・給与制度のあり方の検討					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容	国や他団体との均衡を図り、給与制度の適正化に努めるとともに、能力・実績評価の結果が反映できる新た 目な人事・給与制度のあり方を検討する。							時代の変化 た給与制度	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組(の効果	達成度
取組 経過		随時楨	討・実施			旅費 見直 適正	しによ	表区分の る給与の	達成

番号	3 - 3 - 4	具体的即	双組項目	特別職の給与・報酬の見直し					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容	特別職の給	らい 報酬σ)削減を図る	削減を図る。 目標 効果見込額 16,733千円					
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度		取組の	D効果	達成度
取組 経過	継続実施							果額 8千円	達成

番号	3 - 3 - 5	具体的即	以組項目		期末勤勉手	当の加算措	置の見直し	,
所管課		人事課		関係課等				
改革 内容	職員の期末	勤勉手当 <i>0</i> .)削減を図る		目標		見込額 00千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(D効果	達成度
取組 経過	検討				実施		果額 93千円	達成

番号	3 - 3 - 6	具体的即	以組項目	時間外勤務手当の削減					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容	休日出勤の振替制度の活用を推進するなど、時間外勤 務手当の削減に努める。					目標	時間外勤務	多の削減	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度	
取組 経過		継糸	売実施			262,2	咸額 59千円 度末時点)	達成	

番号	3 - 3 - 7	具体的距	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [特殊勤	防務手当の	見直し	
所管課	人事	課・水道総	務課	関係課等				
改革 内容	特殊勤務手	当の必要性	上等を再検 診)を図る。	目標	制度(効果)	株勤務手当 D確保 見込額 19千円	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過		随時楨	討・実施				果額)6千円	達成

番号	3 - 3 - 8	具体的即	以組項目	各種手当の見直し					
所管課		人事課		関係課等					
改革 内容	各種手当のあり方について検討し、見直しを図					目標	適正な諸手 確保	当制度の	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組	の効果	達成度	
取組 経過	検討	実施	•			住居手 効果額	当の見直し 4,305千円	達成	

番号	3 - 3 - 9	具体的耳	双組項目	定員、給与等の状況の公表				
所管課	人事課			関係課等				
改革 内容	づき、市民)状況の公表 すい方法で 表を行う。		目標	定員・給与について、説明責任を	市民への	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(達成度	
取組 経過	3.	条例制定(H	17)・継続	実施		茨木市人 営等の状況 関する条例 き、毎年2 した。	兄の公表に	達成

番号	3 - 3 - 10	具体的理	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [福利厚生制度の見直し				
所管課		人事課		関係課等				
改革 内容	他の自治体会のあり方			等をふまえ、	職員厚生	目標	市民の理解 る適正な厚 構築	
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	取組(の効果	達成度
取組 経過	見直し		市補助金0	D廃止 [会費徴収		金の廃止 の会費徴収	達成

9 取り組みによる経費削減・増収の総括

少子・高齢化等に伴い生じる新たな行政課題に対応していくためには、財政の健全化が求められるところであり、 新たな財源の確保や歳出全般にわたり、徹底した見直しを推進してきた。

計画を策定した平成17年度及び取組項目を追加した時点において、各取組による経費削減及び増収額を試算しており、その総額はおよそ59億円である。現時点における実績(平成21年度は概算見込み)はおよそ85億円であり、総額では試算を上回る見込みである。

経費削減・増収額

(単位:百万円)

	主 な 項 目		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	総額	達成率
歳入の	市税等の収納率の向上新たな財源の確保	見込	119	252	215	286	331	1,203	130.8%
確保	市税や国民健康保険料、介護保 険料、保育料等の収納率の向上 有料広告の導入 未利用財産の売却と活用 など	実績	119	468	519	391	77	1,574	130.6%
	人件費の削減 _{適正な定員管理の推進}	見込	1	216	363	517	904	2,001	185.3%
	特別職の給与の見直し 時間外勤務手当の縮減 特殊勤務手当の見直し など	実績	62	263	696	988	1,698	3,707	100.3%
歳出の削	事務事業の見直し民間委託等の推進	見込	100	192	471	757	1,201	2,721	119.5%
減	業務改善、行政改革への継続的な取組 公共施設の有効活用と適正管理 指定管理者制度の導入 など	実績	297	217	597	831	1,310	3,252	113.3%
		見込	101	408	834	1,274	2,105	4,722	4.47.40/
	小計(歳出の削減)	実績	359	480	1,293	1,819	3,008	6,959	147.4%
	合 計	見込	220	660	1,049	1,560	2,436	5,925	144.0%
	合 計	実績	478	948	1,812	2,210	3,085	8,533	144.U%

第4 第2期計画(平成22~26年度)の具体的取組事項

第2期計画を推進していく具体的取組事項は、「1 市民参加の仕組みづくり」が20項目、「2 経営の視点による行財政システムの構築」が48項目、「3 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備」が16項目の、合計84項目である。本計画については、指針の趣旨に沿って毎年見直し、その際の状況に応じて新たな具体的取組事項を追加していく。

目標欄における数字は、現時点での見込の数を表す。

1 市民参加の仕組みづくり

(1) 透明で公平・公正な行財政運営の推進

ア 情報公開の推進

番号	1-1-1 具体的取組項目			市民への情報提供の充実			
所管課		各課					
改革 内容	情報公開のきるよう、				笙保を図る <i>†</i>	こめ、市と市民が情報の共有がで	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		随日	詩 実 施		広報誌、ホームページ、その他 の媒体を活用した新鮮な情報の 発信		

番号	1 - 1 - 2	具体的距	以組項目		審議会等に関する情報提供の充実			
所管課	政策企画課			関係課等	各課			
改革 内容	ホームペー る。	・ジを有効に	ご活用し、 箸	審議会等の会	ὰ議開催日和	呈や会議録・資料の公開を推進す		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画	打 (茨木市	旨針改定(H 審議会等の会	22)・継続 ≩議の公開に		会議録公開率:90% 全ての審議会等の情報をホーム ページへ掲載			

イ 広報広聴活動の推進

番号	1 - 1 - 3	- 1 - 3 具体的取組項目			広報誌への市民参加型の誌面づくりの検討				
所管課		広報広聴課	;	関係課等					
改革 内容	総合行政情	報誌として	、市民参加	づくりを取り	り入れる。				
	22年度	23年度	24年度	26年度	目標				
取組 計画		継糸	売実 施		市民が参加しやすい誌面づくり				

(2) 市民との協働による行財政運営の推進

ア パブリックコメント制度の活用

番号	1 - 2 - 1	具体的理	以組項目	パブリックコメント制度の積極的な活用			
所管課		政策企画課			各課		
改革 内容	パブリック	コメント制	度を活用し	ノ、政策等 <i>0</i>)意思形成证	過程への市民参画	の促進を図る。
	22年度	23年度	24年度	26年度	目	標	
取組 計画		継糸	売 実 施		パブリックコメミ民参画の促進	ント案件への市	

イ 市民との協働のまちづくり

番号	1 - 2 - 2	具体的即	以組項目	市民公益活動の環境の整備			
所管課	市民活動推進課			関係課等	関係課等 各課		
改革 内容	ボランティ	ア、NPC	等が活動しやすい環境の整備をi			生める。	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		継糸	売実施		市民活動センターにおける市民 相互のコーディネート機能の充 実		

番号	1 - 2 - 3	1 - 2 - 3 具体的取組項目			まちづくり	活動を進める仕組	ぬと環境づくり
所管課		各課					
改革 内容	財政的)制	度の充実・	強化を進め	り、あわせて	で市の組織	まちづくり活動へ(・体制の見直しを ・ り成に努める。	の支援(人的・ 検討し、市民の
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		継糸	売実 施		市民による主体的ちづくりの展開	り、自立的なま	

番号	1-2-4 具体的取組項目			ワークショ	ップ手法等に	こよる参加機会とネットワークの拡大
所管課	各課			関係課等		
改革 内容	り組む機運	を高める。	また、ワ-	-クショップ	プへの参加る	市民と市がともに計画の実現に取 を通じて、地域の責任において市 を深めながら、協働体制の確立に
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標
取組 計画		随日	詩 実 施			住民参加で協働による魅力ある まちづくりを目指す。

番号	1 - 2 - 5	具体的即	双組項目	市民等との	D協働を活用	用した政策推進、	予算編成の検討
所管課	政策	企画課・財	政課	関係課等		市民活動推進	基課
改革 内容	市民(地域)との協働施策の推進に伴い、市民等との協働を活用した政策推進、予 成手法を検討する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		検	討				結成の進捗にあ 行政の協働によ 算編成の実現

番号	1-2-6 具体的取組項目 ボランティア、NPO等との協働推進						
所管課	市	民活動推進	課	関係課等		各課	
改革 内容	市民に対して社会参加の場を広げるとともに、市民の視点に立って市民ニーズに応し よりよい公共サービスを提供するため、各種の事務事業における協働を推進する。					見点に立って市民ニーズに応じた 業における協働を推進する。	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画	継続実施 ボランティア・NPOの育協働事業の拡大						

番号	1 - 2 - 7	具体的耳	きによる住民自治	鉛組織の構築				
所管課	市	民活動推進	課					
改革 内容		市民が自治的に参画する社会づくりを進めるため、地域担当職員制度を通じて、地域― 本となった地域づくりを進め、また、市の体制を構築する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		随 1	持 拡 大		地域担当職員制 住民自治組織の			

ウ 環境に配慮した施策の推進

番号	1-2-8 具体的取組項目 環境に配慮した施設管理							
所管課	含	予施設担当 請	果	関係課等		環境政策課		
改革 内容	公共施設等	公共施設等に太陽光発電装置を設置するなど、環境に配慮した施設管理を推進する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標		
取組 計画	随時実施 各施設において、環境に配慮した取り組みを推進							

番号	1 - 2 - 9	具体的即	以組項目	温室効果ガスの削減				
所管課		環境政策課		関係課等		各課		
改革 内容	市の事務事エネルギー	事業から発生 ·機器の導 <i>入</i>	∃する温室交 、、省エネル	素)の削減に向け りる。	、低公害車や新			
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	Ш	標	
取組 計画		随 6	寺 実 施			温室効果ガス排と でに10%削減(ト		

番号	1 - 2 - 10	具体的理	以組項目	3 R (リ	デュース、	リユース、	リサイ	イクル)の推進		
所管課		環境政策課		関係課等	環境事業課					
改革 内容	循環型社会 る。	循環型社会の形成に向け、 3 R (リデュース、リユース、リサイクル)の推進に努め る。								
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		目	標		
取組 計画		継糸	売推 進				物処理基本計画 非出量の削減			

(3) 市民の視点に立ったサービスの改善

ア 窓口サービスの向上

	-							
番 号	1 - 3 - 1	具体的即	以組項目	窓口業務の効率化				
所管課		窓口担当課	Į.	関係課等				
改革 内容	市民に気持ちよく利用してもらえるよう、申請手続の 進める。					箏素化など、窓口	事務の効率化を	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		随 8	寺 実 施			窓口事務の効率(の待ち時間短縮	化による来庁者	

番号	1 - 3 - 2	具体的即	以組項目	時間外窓口の充実				
所管課		窓口担当課		関係課等				
改革 内容	平日の執務	平日の執務時間内に来庁できない市民のために、時間外における窓口開設を検討する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画	随時実施 市民のニーズに応じた口の開設							

番号	1 - 3 - 3	具体的耶	双組項目		窓口サーと	ごスのワンストップ化	
所管課		政策企画課		関係課等			
改革 内容	複数課にまたがる各種申請・交付・証明業務をできるだけ 1 か所の窓口で行う(ワンス トップサービス)ことで、市民サービスを向上させる。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画	検討	準備	,	実施		各種手続に要する時間を短縮	

番号	1-3-4 具体的取組項目 各種申請・届出等の簡素化						化		
所管課		政策企画課		関係課等		情報システム課、	各課		
改革 内容	簡易電子申	簡易電子申込システムを有効に活用するなど、各種申請・届出等の簡素化を図る。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	Ш	標		
取組 計画	随 時 実 施 簡易電子申込システム 数、利用件数の拡大								

イ 電子自治体の推進

番 号	1-3-5 具体的取組項目 電子入札の推進						
所管課		契約検査課		関係課等			
改革 内容	入札業務の効率化、公正性・透明性の確保及び競争性の向上を図るため、電子入札システムの活用を推進する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		継糸	売実 施			電子入札の利用扱	広大

ウ 危機管理体制の整備

番号	1 - 3 - 6	具体的耶	以組項目	危機管理マニュアルの整備				
所管課		危機管理課		関係課等		各課		
改革 内容	市民に被害が及ぶ恐れのある様々な危機を未然に防ぎ、また、発生した危機に本市7 全の体制で対応することで、市民の生命・身体・財産を保護する。						危機に本市が万	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画	準備	マニュ アル作 成	検証	実施		マニュアルの整体づく訓練の実施	着と、それに基	

番号	1 - 3 - 7	具体的即	双組項目		自主防災組織の結成、促進			
所管課		危機管理課	;	関係課等		警防課		
改革 内容	災害時の地域住民自身による活動が極めて重要なことであることを踏まえ、自主 織の結成を促進する。また、自主防災資機材を購入し、体験型の防災訓練を充実 ことにより、地域防災力の向上を図る。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標		
取組 計画		随 8	持拡 大		組織率65% 1団体年1回以上の訓練実施			

2 経営の視点による行財政システムの構築

(1) 経営の視点に立った行財政運営

ア 事務事業の見直し

番号	2 - 1 - 1	具体的即	収組項目		業務改善への継続的な取組			
所管課		政策企画課	ļ.	関係課等	関係課等 各課			
改革 内容	効率性・公平性・必要性などの観点から、各所属の業 める。					外の見直しを自主的・継続的に進		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画		継糸	売実 施		職員自らが自主的に業務を見直 す体制の定着、職場における改 善案の活発な検討			

番号	2 - 1 - 2	具体的耳	以組項目	創意工夫による事務事業の見直し			
所管課		財政課		関係課等		各課	
改革 内容	毎年の予算編成の過程において、 減に努めるとともに、社会経済情 る。			創意工夫に 情勢の変化と	創意工夫による事務事業の見直しを徹底し、経費の 勢の変化と市民ニーズに適応した事業の改善を進め		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随 6	詩 実 施			見直しにより生規・拡充事業に関	

番号	2 - 1 - 3	具体的距	双組項目	各種イベントの見直し				
所管課	各个	イベント担	当課	関係課等				
改革 内容	各種イベン	各種イベントの効果、必要性等を検証し、見直しを進める。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標		
取組 計画		随時検	討・実施			行政評価を活用した費用対効果 の検証		

番号	2 - 1 - 4	具体的耳	双組項目	事務処理マニュアルの作成・活用			
所管課		政策企画課	Į.	関係課等	関係課等 各課		
改革 内容	事務処理マニュアルを作成・活用し、職場の活性化を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画	随時検討・実施 定型的事務事業のマニ の推進						

番号	2 - 1 - 5	具体的即	以組項目	長期継続契約の推進			
所管課		契約検査課		関係課等		各課	
改革 内容	施設管理や物品の借り入れ等において、複数年度に渡って契約したほうが効率的・交的なものは、積極的に長期継続契約を導入する。						が効率的・効果
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画	随時実施 効率的・効果的な契						

番号	2 - 1 - 6	具体的即	以組項目	総合評価一般競争入札制度の推進			
所管課		契約検査課		関係課等		各課	
改革 内容	入札制度において、「価格」以外の「技術」や「公共性」等を併 最も有利な者を落札者とする総合評価方式を導入する。						7価し、総合的に
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	囯	標
取組 計画		随 1	詩 実 施		工事契約におけ 施	る総合評価の実	

番 号	2 - 1 - 7	具体的距	以組項目	ΙC	ICTを活用した事務の効率化・省力化			
所管課	情	報システム	.課	関係課等	各課			
改革 内容	より一層の	より一層の事務の効率化、高度化のため、ICTの活用を推進する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	漂	
取組 計画	随時検討・実施事務の効率化・省力化							

番号	2 - 1 - 8	具体的即	以組項目	類似事務事業の整理・統合			
所管課		政策企画課	Į.	関係課等		各課	
改革 内容	類似する事務事業を整理・統合することにより、より効果的・効率的な行財政運営を図 る。						図
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		随日	詩 実 施		効果的・効率的な実施形態へ(転換	の	

番号	2 - 1 - 9	具体的理	双組項目	出資法人の適正な運営				
所管課	各出	出資法人所管		関係課等				
改革 内容	市が出資する法人の公益法人化を検討するとともに、各団体の経営健全化を図る。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		随時検	討・実施		公益法人化を含む 化	めた経営の適正		

イ 施策等の進行管理手法の構築

番号	2 - 1 - 10	具体的耳	双組項目		行政評価>	ノステムの構築・	活用
所管課		政策企画課	;	関係課等			
改革 内容	総合計画の施策体系に沿った行政評価システムを運用するとともに、評価結果を有効に 活用し、効果的・効率的な行財政運営に努める。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画	事務事業評価	施策	評価等の核	美討・実施		施策評価の導入	

番号	2 - 1 - 11	具体的即	以組項目	総合計画の計画的な進行管理			
所管課	政策企画課			関係課等			
	総合計画に掲げる5つの都市像や6つの基本政策の実現 進に努める。					見に向けて、政	策推進プランの推
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		継糸	売実施				システムの充実に 効果的な行財政運

番号	2 - 1 - 12 具体的取組項目				計画行政の推進			
所管課		各課		関係課等				
改革 内容	市の現状と 展開と進捗					画を策定し、これに基づく事業の を図る。		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画		随日	詩 実 施			適切な計画の策定・進捗管理に よる施策の実現		

番 号	2 - 1 - 13	2 - 1 - 13 具体的取組項目			PDCAサイクルによる行財政運営体制の確立		
所管課	政策	企画課・財	政課	関係課等			
改革 内容	事業の実施 編成へ反映			E政策の推進	生に必要な事業の	取捨選択や予算	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		検討	・実施			PDCAサイクル 効率的で効果的な	

ウ 公共施設の有効活用と適正管理

番 号	2 - 1 - 14	具体的理	以組項目	市立保育所の民営化					
所管課		保育課		関係課等					
改革 内容	市立保育所	立保育所の役割を見直し、管理運営に民間活力の導入を推進する。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標			
取組 計画	検討		未定	<u> </u>		効果見込額 143,081千円			

番号	2 - 1 - 15	具体的即	双組項目	利用者の声を反映した施設運営の推進			
所管課	Ş	S施設担当 詞	果	関係課等			
改革 内容	公の施設の管理運営にあたり、施設利用者の声を活かした運営に努める。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随 8	詩 実 施		施設利用者の利値	更性向上	

番号	2 - 1 - 16	具体的耳	取組項目	公有財産の有効活用			
所管課	各	予施設担当 計	果	関係課等			
改革 内容	市有施設に活用を図る		- ビスを拡充	ご利用者の均	曽大を図るなど、	公有財産の有効	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随時楨	検討・実施			各種公有財産の 討	う有効活用策の検

番 号	2 - 1 - 17	2 - 1 - 17 具体的取組項目			水道直圧変更工事			
所管課		工務課		関係課等	各施設担当課			
改革 内容	水道の衛生 式に変更す		が水道設備 約	雙持管理費 <i>0</i>)軽減のため	か、受水槽及び高	架水槽を直圧方	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		随日	寺 実 施			直圧方式への変態施設における実施		

番号	2 - 1 - 18 具体的取組項目			下水道の長寿命化			
所管課		下水道課		関係課等			
改革 内容	生を未然に防止するため、下水道			管の点検・ 」を策定し	調査を実施 した上、事業	景の損傷による機能停止、事故発 色しながら、対策内容や対策時期 養を実施する。また、計画策定等	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画	点検・			築・更新		下水道長寿命化計画の策定	

番号	2 - 1 - 19	具体的即	以組項目	市立学校の適正なあり方の検討				
所管課		教育政策課	Į.	関係課等				
改革 内容	山地部の小	山地部の小・中学校の適正なあり方について検討を進める。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画		糾	<u></u> 続		山地部の小・中学校の適正化			

エ 広域行政の推進

番 号	2 - 1 - 20	具体的即	双組項目	広域連携の一層の推進					
所管課	政策企画課			関係課等	各課				
改革 内容	特例市や近隣自治体と連携して、る。			共通する課題の解決に向けた広域的な取り組みを			取り組みを進め		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標		
取組 計画		継糸	売実 施			特例市や近隣自治より、課題の把握 た取り組みを推進	屋と解決に向け		

(2) 民間活力の積極的な活用

ア 民間委託等の推進

番号	2-2-1 具体的取組項目			民間委託等の推進			
所管課		各課		関係課等			
改革 内容	「茨木市ア 検証し、民	'ウトソーシ 問委託等か	/ング指針 」 が適する業務	に沿って、 용については	行政の関 ^兵 は、活用を排	5の必要性や民間 推進していく。	委託等の適否を
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随日	詩 実 施			民間委託等の推	進

イ 指定管理者制度の推進

番号	2 - 2 - 2	具体的距	以組項目	指定管理者制度の積極的な活用			
所管課	政策企画課			関係課等	督係課等 各施設担当課		
改革 内容				ミサービスの 拿入を推進す		里経費の節減が図	れるものについ
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随時楨	討・実施			直営施設・新設施入に向けた検討	施設への制度導

番号	2 - 2 - 3 具体的取組項目			指定管理者制度の適正な運用			
所管課		政策企画課		関係課等			
改革 内容	指定した団 費の節減等]体等に委ね を図る。指	、市民に対 定管理者の	Nつ良質なt Eニタリング	するため、公の施設の管理運営を ナービスを提供するとともに、経 ブを行い、その結果をもとに、よ スの向上や効率的な施設運営を目		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		随日	詩 実 施			モニタリング制度の確立により、サービスの質や施設運営の 効率性を確保する。	

ウ PFI手法の導入

番号	2 - 2 - 4	具体的即	以組項目	PFI手法の活用の検討			
所管課	下水道課			関係課等	系課等 政策企画課		
改革 内容	合併処理浄化槽事業等、PFI手法の導入を検討						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画	準備	整備計画	条例制定	実	施	合併処理浄化槽への導入 削減効果額:47,800千円	

(3) 健全な財政運営の確立

ア 財政の健全化

番号	2 - 3 - 1	具体的距	以組項目	中・長期財政計画の策定			
所管課	財政課			関係課等			
改革 内容	「政策推進プラン」の策定時に、中・長期財政計画を策定し、財政運営の健全化に努 る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		策定	ど・実施			経常収支比率90%以下 公債費比率10%以下	

番号	2 - 3 - 2	具体的耳	双組項目	Ξ	国民健康保險	食事業特別会計の見直し	
所管課		国保年金課		関係課等			
改革 内容	国民健康保険料の収納率向上による増収を図り、法定外繰入金の抑制を目指す。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		継糸	売実 施			効果見込額 350,000千円	

番号	2-3-3 具体的取組項目			介護保険事業特別会計の見直し			
所管課	介護保険課			関係課等			
改革 内容	介護保険事業特別会計の運営のあり方を見直し、効率的な運営に努める。						•
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		——— 検討	・実施			介護保険事業計	画の着実な実施

番号	2-3-4 具体的取組項目				公共下水道	事業特別会計の見直し
所管課	下水道課			関係課等		
改革 内容	公共下水道事業特別会計の運営のあり方を見直すとと 討し、より効率的な運営に努める。					らに、企業会計方式についても検
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標
取組 計画		継続	実施		削減効果額 168,000千円	

番号	2 - 3 - 5	具体的耳	双組項目	最適な	\$行政規模を	を共有できるシステムの構築
所管課	財政課			関係課等		
	様々な財政指標やデータを駆使することにより、税収の多寡に左右されず、 規模が確保できるシステムを構築する。					D多寡に左右されず、最適な財政
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標
取組 計画	継 続 実 施					健全化判断比率・財務諸表等の 活用・公表 財政の健全化推進

イ 税源と新たな財源の確保

番号	2-3-6 具体的取組項目			有料広告等の有効活用			
所管課	政策企画課			関係課等	関係課等 各課		
改革 内容	ホームページや窓口用封筒等への有料広告の掲載を行うことにより、新たな財源の確保 や経費の節減を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		継糸	売実 施			增収見込額 6,822千円	

番号	2 - 3 - 7	具体的即	以組項目	観光振興による地域活性化の推進			
所管課	商工労政課			関係課等	各事業課		
改革 内容	観光協会とともに、さらなる誘客宣伝活動を展開し、る。					新工業の振興とま	ちの活性化を図
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随時検	討・実施		市の観光資源(歴史的遺産等)		

番号	2 - 3 - 8	具体的距	双組項目	産業の活性化の推進			
所管課	商工労政課			関係課等			
改革 内容	地域経済の る。)維持・発展	そのため、1)さまざまた	な支援や、企業の立地促進を図		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		継糸	売 実 施			企業訪問数500件 支援策活用企業数350件	

番 号	2 - 3 - 9 具体的取組項目			遊休地の有効活用			
所管課	総務課・政策企画課			関係課等			
改革 内容	土地の売却による新たな収入の確保や、市民ニーズに対応するための施設の整備など、 市の遊休地の有効な活用法を検討する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		随日	詩 実 施			効果的な行政財産の活用に努める。 売却による増収見込額 15,000千円	

番号	2 - 3 - 10 具体的取組項目			前納報奨金の見直し				
所管課	収納	課・国保年	金課	関係課等				
改革 内容	市税及び国	市税及び国民健康保険料の前納報奨金について、制度の見直し(廃止)を実施する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画			市税実施	## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##		効果見込額 347,020千円		
		国保検討・	1 武1丁	大 村区	国保実施			

番号	2 - 3 - 11	- 3 - 11 具体的取組項目			法人市民税均等割の税率の見直し		
所管課	市民税課			関係課等			
改革 内容	法人市民税均等割の税率を標準税率から制限税率(1.2倍)に引上げる。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		検	計			効果見込額 139,490千円	

ウ 市税等の収納率の向上

番 号	2 - 3 - 12	具体的即	以組項目	課税答	客体の適正な	は把握による市税収入の確保			
所管課	市民	税課・資産	税課	関係課等					
改革 内容	課税客体の	課税客体の正確かつ詳細な把握に努め、収入の増を図る。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標			
取組 計画	継続実施 公平・適正な課税の確保								

番号	2 - 3 - 13	具体的耶	双組項目	各種徴収システムの見直し					
所管課		収納課		関係課等 料金徴収各課					
改革 内容	徴収体制の確保を図り、収納率の			の向上に努める。					
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標			
取組 計画	継続実施 増収見込額86,000千円								

番 号	2 - 3 - 14	具体的即	双組項目	市税等口座振替加入率の向上			
所管課		収納課		関係課等	関係課等 料金徴収各課		
改革 内容	口座振替加	入率の拡大	で図り、市	市税等の収納率の向上に努める。			
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画		継糸	売実 施			口座振替加入率 納税義務者数の18%	

番号	2 - 3 - 15	具体的耳	以組項目	市税等のコンビニ収納			
所管課	収納	課・国保年	金課	関係課等			
改革 内容		は・保険料のコンビニ納付を導 期内納付率の向上を目指す。			税者の利便性	生の向上を図るとともに、収納率	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画	(市税)システム構築 (保険料)検討	試行	実施		コンビニ収約 取扱件数 17,7		

エ 受益者負担の適正化

番号	2 - 3 - 16 具体的取組項目			使用料・手数料の定期的な見直し			
所管課	財政課			関係課等	各課		
改革 内容	受益者負担 図る。	!の適正化を	E図るため、	使用料・手数料について、定期的に全庁的な見直			庁的な見直しを
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随時楨	討・実施			受益者が負担す。 定し、適正な料:	

番 号	2 - 3 - 17	具体的I	取組項目	公共施設駐車場料金の検討			
所管課	ź	S施設担当	果	関係課等			
改革 内容	各公共施設 討し、利用			民間駐車場と	この均衡や放	徳設利用者に配慮	した見直しを検
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		実施・	随 時 検	討		市民サービスの日担の適正化	句上・受益者負

オ 補助金等の整理合理化

番 号	2 - 3 - 18	具体的理	[[[]]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [[]] [補助金事業の見直し			
所管課		各課		関係課等			
改革 内容						かについては事業補助への移行、 輔助金の見直しを図る。	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		随時検	討・実施			適正な補助率での補助	

番号	2 - 3 - 19		収組項目	88 // AB 66	補助金の見直し			
所管課	財政課			関係課等	関係課等 各課			
改革 内容	を目指し、	広く市民福		資するもの	つである「2	生を検討し、市の 公益性」の視点か 3。		
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		随時検	討・実施			団体補助から(名補助制度への転打	公募型の)事業 換	

カ 扶助費の見直し

番号	2 - 3 - 20	具体的耳	以組項目		個人給付事	事業等扶助費の見	.直し
所管課	-	各課		関係課等			
改革 内容	公的扶助が を検討する		る事業本系	その目的を路	当まえ、所得	景制限の導入及び	基準の見直し等
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随 8	寺 実 施			効果見 365,33	

キ 公共工事のコスト縮減

番号	2 - 3 - 21	具体的距	双組項目		公共工事の	のコスト縮減策の推進
所管課		工事担当課	Į	関係課等		
改革 内容	公共工事の計画から施工に至るまでのコスト縮減を図る。					3.
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標
取組 計画		随時楨	討・実施			工事コストの低減、工事の時間的コストの低減、工事における社会的コストの低減について研究・検討しコストの削減を目指す。

ク 公営企業の経営の健全化

番 号	2 - 3 - 22	具体的耳	双組項目	浄水場運転管理業務の委託化							
所管課		浄水課		関係課等							
改革 内容	浄水場運転										
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標					
取組 計画		一部実施	色		本格実施	人件費の削減					

番号	2 - 3 - 23	具体的耶	双組項目		水道料金体系の見直し			
所管課		水道総務課			関係課等 水道各課			
改革 内容	将来にわた を尊重し、				こめ、茨木市	市水道・下水道事	業懇談会の提言	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画	改定実施		実績比輔	交		将来にわたっているに安価な水道		

番号	2 - 3 - 24 具体的取組項目			下水道使用料の見直し			
所管課	下水道課			関係課等			
改革 内容	巨額な資金を投入し建設した下水道施設を適正に維持管理し、今後の下水道事業を円 に進めるため、下水道財政の基盤強化が必要なことから、茨木市水道・下水道事業懇 会の提言の趣旨を十分に尊重しながら、下水道使用料を見直し、財政の健全化を図る					る、茨木市水道・下水道事業懇談	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標	
取組 計画	使用料 第 1 次改定 第		使用料 2 次改定		資本比率 平成22年度 55% 平成24年度 60%		

- 3 行政経営を担う職員の育成と組織・機構の整備
 - (1) 機能的・効率的な組織・機構の整備
 - ア 時代の変化に対応した組織・機構の見直し

番 号	3 - 1 - 1	具体的耳	以組項目		効率的な組織の構築			
所管課	政策企画課			関係課等				
改革 内容		市民ニーズに即応した柔軟で機動的な組織の構築に努める。また、事務の決裁権限を下 部に委譲し、庁内の意思決定の迅速化・効率化を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画		随日	詩 実 施			市民ニーズへの対応 組織の簡素・効率化		

番号	3 - 1 - 2	具体的即	以組項目		トチームの一層の活用			
所管課		政策企画課		関係課等	等 各課			
改革 内容	横断的な行	黄断的な行政課題への対応を図るため、プロジェクトチームの活用を進める。 						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画	随 時 実 施 横断的行政課題の解決							

番号	3 - 1 - 3	具体的即	以組項目	公民館再編事業			
所管課		市民学習課			関係課等 市民活動推進課		
改革 内容	地域の関係野に入れ、				みとなるた め	か、地域団体によ	る管理運営も視
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		随時検	討・実施			地域の活動・学 推進する。	習拠点づくりを

イ 審議会等の機能向上

番 号	3 - 1 - 4	具体的即	双組項目	審議会等への市民公募委員の参加促進							
所管課	政策企画課			関係課等	各課						
改革 内容	市民の声をする。	市政に反映	さするため、	公募による市民委員の選任を推進し、市民参画を			市民参画を推進				
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標				
取組 計画		継糸	売実 施			公募による委員	選任の拡大				

番 号	3 - 1 - 5	具体的理	以組項目	審議会等における女性委員の比率の増加				
所管課	人村	を 男女共生	主課	関係課等	督係課等			
改革 内容	政策・方針	策・方針決定過程への女性の参画を促進するため、女性委員の登用を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標		
取組 計画		随日	持 拡 大			女性登用率 平成23年度まで 35% 最終目標として、50%に 近づける。		

番 号	3 - 1 - 6 具体的取組項目 審議会等の会議における一時保育の実施							
所管課	政策企画	画課・子育で	て支援課	関係課等	各課			
改革 内容	会議中の一	会議中の一時保育を実施し、女性が参画しやすい環境を整える。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標		
取組 計画		随 1	持 拡 大			原則として、公開される審議会 等の会議の全てにおいて、一時 保育を実施する。		

(2) 経営感覚、政策形成能力、チャレンジ精神に富んだ職員の育成

ア 人事評価制度の導入

番号	3 - 2 - 1	具体的理	以組項目		人事評	価制度導入の検討					
所管課	人事課			関係課等							
改革 内容		戦員の意識改革と能力・実績を重視した人事管理を行うため、人事評価制度(業績評 両)を導入する。									
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標					
取組 計画	試行		本格実施	施		業績評価の導入 職員の意識改革と能力・実績を 重視した人事管理					

イ 職員研修の充実

番号	3 - 2 - 2	3 - 2 - 2 具体的取組項目			力、法務能力]等の向上を目指し	ルた研修内容の充実
所管課	人事課			関係課等			
改革 内容	経験年数や実に努める		ごて求められ	この策形成	戈能力、法 矛	務能力の向上を目	目指し、研修の充
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画	充	医実実施		見直し・体系(政策形成・法務	研修の体系化

ウ 職員の意識改革と能力向上

番 号	3-2-3 具体的取組項目			経営感覚を身につけた職員の育成						
所管課	人事課			関係課等						
改革 内容	職員一人ひとりが顧客主義や効率性・経済性などの経営感覚を持つよう意識改革を進 る。						意識改革を進め			
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標			
取組 計画		継糸	売実 施			派遣研修の充実 報)共有化の徹				

番号	3 - 2 - 4 具体的取組項目			接遇能力及び意識の向上			
所管課	人事課			関係課等			
改革 内容	徹底した接遇・マナーの向上に努め、市民の立場に立った利用しやすい市役所づくり 目指す。						市役所づくりを
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		継糸	売実施			全庁的な意識向. つけるしくみづ	

番号	3 - 2 - 5 具体的取組項目 フ				フロアマネ	トージャー業務の第	実施
所管課	人事課			関係課等			
改革 内容	市民サービス向上のために、市民課等フロアーで直接市民からの問い合わせに対応する ことを通して、市民の目線に立つことができる職員としての意識の醸成を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標
取組 計画		継糸	売実 施			職員の意識向上に ビスの充実	よる市民サー

(3) 定員及び給与の適正化

ア 定員管理の適正化

番号	3 - 3 - 1	具体的理	カ務形態の活用推	進					
所管課		人事課		関係課等	等				
改革 内容		業務内容に応じて、非常勤、臨時職員、再任用職員及び短時間勤務職員を有効に活用 し、職員採用の抑制を図ることで、少数精鋭主義に基づく体制を維持する。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標		
取組 計画	随時検討・実施 変様な勤務形態の活用と過 定員管理(人件費の抑制)								

イ 給与等の適正化

番 号	3-3-2 具体的取組項目 新たな人事・給与制度のあり方の検討						
所管課	人事課			関係課等			
改革 内容	国や他団体との均衡を図り、給与制度の適正化に努めるとともに、能力・実績評価果が反映できる新たな人事・給与制度のあり方を検討する。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目標	
取組 計画		継糸	売実施			人事評価を勤勉手当率や昇給に 反映するシステムの確立	

番号	3 - 3 - 3 具体的取組項目			特別職の給与・報酬の見直し				
所管課	人事課			関係課等				
改革 内容	特別職の給	特別職の給与・報酬の削減を図る。						
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標		
取組 計画	継続実	施			効果見込額 12,364千円			

番 号	3 - 3 - 4	具体的耳	双組項目	時間外勤務手当の削減					
所管課		人事課		関係課等	<u> </u>				
改革 内容	休日出勤の振替制度の活用を推進するなど、時間外勤務手当の削減に努める。								
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目 標			
取組 計画		継糸	売実施			60時間以上の時間外勤務の削減			

番号	3 - 3 - 5	具体的即	以組項目	各種手当の見直し				
所管課		人事課		関係課等				
改革 内容	各種手当のあり方について検討し、見直しを図る。							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	目	標	
取組 計画		継糸	売実施			各種手当の適正の	化	

4 第2期計画(平成22~26年度)の取組目標

本市を取り巻く経済状況が依然として厳しい中、地方分権の本格的な到来や、少子・高齢化を含め高度化・複雑化する行政課題に対応していくためには、財政規律の保持が求められるところであり、新たな財源の確保や歳出全般にわたり、徹底した見直しが必要である。

そのため、本計画期間内における取組目標として、次のとおり設定する。

経費削減・増収見込額

(単位:百万円)

	主 な 項 目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	総額
歳入の確保	市税等の収納率の向上 新たな財源の確保 市税や国民健康保険料、介護保 険料等の収納率の向上 有料広告等の有効活用 未利用財産の売却と活用 前納報奨金の見直し など	156	298	301	304	307	1,366
歳	人件費の削減 適正な定員管理の推進 特別職の給与の見直し 時間外勤務手当の削減 各種手当の見直し など	258	14	8	8	8	296
出の削減	事務事業の見直し 民間委託等の推進 業務改善、行政改革への継続的 な取組 公共施設の有効活用と適正管理 指定管理者制度の推進 浄水場運転管理業務の委託化 など	175	177	270	273	415	1,310
	小計(歳出の削減)	433	191	278	281	423	1,606
	合 計	589	489	579	585	730	2,972